

鳥羽志摩記者クラブ
加盟報道機関 各位

令和 5年 7月25日 (火)

【照会先】

鳥羽市役所課 秘書係

担当：永野

TEL 0599-25-1105

※「鳥羽方言カルタ」の完成報告

「鳥羽方言カルタ」の完成報告と、方言の持つ地域の文化や歴史を保存し、また郷土愛を育むためこのカルタを活用し、市内小中学校をはじめ各世代間交流の場での活用を期待するもの。

- 概要：
 - ・「鳥羽方言カルタ」完成までの経緯
 - ・「鳥羽方言カルタの会」活動内容ほか
・・・別添のとおり・・・
 - ・作成数 163 部 (完成)

- 日時： 8月2日 (水) 午前10時～午前10時30分

※当日は、「鳥羽方言カルタの会」メンバー4人～5人が来庁

- 場所： 鳥羽市役所 2F市長室

鳥羽方言カルタの製作までの経緯について

〈鳥羽方言カルタ製作の経緯〉

令和3年春に高齢者サロンに携わっている民生委員さんから、『伊勢方言カルタという遊びが大変盛り上がり楽しかった。近隣の市にも関わらず知らない言葉や、鳥羽でも馴染みの言葉があったりして参加者達は楽しい一時を過ごすことができた。言葉は自分が生きてきた歴史が現れる』という話を伺いました。サロン運営、地域福祉に関わる社協職員としては『鳥羽方言カルタ』がないのであれば、鳥羽方言カルタを作り市民に郷土愛を深めてもらうツールになればいいなと思いました。

折しも、前年度に鳥羽市老人クラブ連合会の小林千代太郎会長が『鳥羽方言集』を製作され、それを利用して『鳥羽方言カルタ』を作ることは可能かどうか伺ったところ、小林会長は快く引き受けてくださいました。

カルタ製作するにあたり、鳥羽市老人クラブ連合会のメンバーだけでは難しいという意見がでて、鳥羽市ボランティア連絡協議会の山本英子会長に協力をお願いできないか打診いたしました。

役員会で話し合っただき、有志が参加する形で鳥羽方言カルタのメンバーを集めることが出来ました。令和3年10月15日には鳥羽市ボランティアセンターにこのメンバーがボランティア団体として登録されました。メンバーは、鳥羽市老人クラブ連合会の有志、小林千代太郎氏、野村榮生氏、瀬崎憲寿氏、ボランティア連絡協議会から山本英子氏、赤尾勉氏、藤本真理子氏、清水久行氏が所属しております。

製作するにあたりましては、松阪市の『たきカルタ』をネットからダウンロードしたり、『飯高カルタ』を製作された松阪市社協さんに話を伺いました。またテレビで放映された石鏡弁の特集番組や鳥羽市社会福祉協議会で購入した『津軽弁カルタ』を聞いて勉強会を開催しました。

鳥羽方言カルタの会議は令和3年10月を皮切りに令和5年7月までに16回会議が行われています。言葉については差別的表現が含まれないよう細心の注意を払いました。カルタの札の文章が出来た際には、皇学館大学の齋藤平教授（現在は副学長）、大野愛子さん、橋本好史さんにもご意見をいただきました。

なにぶんボランティア資金がないボランティア団体ですので、資金につきましてはまずは鳥羽市社会福祉協議会の赤い羽根共同募金の助成を利用してカルタを10部作製することができました。

しかし、10部では鳥羽市で使われている鳥羽の方言を普及させることは難しいと考え、三重ボランティア基金事業のボランティア活動資金助成を活用しました。審査は無事に通過することはできましたが、助成を受ける条件といたしまして『方言による差別的表現の配慮確認をお願いします』との付帯事項がつけました。カルタを作る難しさを痛感しつつも、会議は毎回笑いが溢れ『この言葉は鳥羽では標準語』というフレーズがでてきました。紆余曲折を得てこの度、様々な基金を利用して153部のカルタ、全部では163部のカルタを作ることが出来ました。

〈団 体 名〉鳥羽方言カルタの会

〈設立年月日〉令和3年10月15日

〈活 動 内 容〉

少子高齢化、核家族化で地域の伝統行事の消滅、郷土愛の希薄化等コミュニティ社会の形態が失われつつある今日、昔から伝わり、話されていた方言が日常会話から消え去り死語となっていく今日、地方の方言は地域の文化や歴史を保存する重要な役割を持っている。

この為に、「鳥羽方言カルタ」を作成し、後世に伝承していく事を目的に活動する。

〈助成事業完了後の事業継続に関する計画及び意向〉

方言カルタ作成後、市内小中学校、町内会、老人クラブ、婦人会、青少年団体等を含めたメンバーでカルタ大会を実施し、各世代間交流で方言カルタを活用。

地域の方言について理解、伝承し郷土愛を育成。

〈期待される効果〉

10部だけでは普及活動が難しく、増刷することにより様々な団体に貸与し、鳥羽の方言の魅力を感じとって頂ける機会になると思います。方言カルタを活用して、少しでも郷土愛の一助になれる事を期待する。